

平成28年3月8日

株式会社サンフレッチェ広島 御中

サッカースタジアム実務者検証作業部会
(広島県、広島市、広島商工会議所)

サッカースタジアム建設案に対する確認について（依頼）

時下、貴社におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

このことについて、3月3日に発表されました「Hiroshima Peace Memorial Stadium（仮）建設案」について、確認させていただきたいことがございます。

つきましては、別添の確認事項について、御回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

確認事項1については3月11日（金）までに、確認事項2については3月16日（水）までに御回答いただくようお願いいたします。

確認事項 1

1 周辺建築物の移設等について

広島県立総合体育館の武道場、広島市こども文化科学館、広島市青少年センター、広島商工会議所、PL教団は移設するという案でしょうか。

2 スタジアムの仕様等

作業部会の積算では、掘り込みなしでは2万人規模と想定しています。

席幅（記者席、VIP席など）、コンコース、諸室、多機能施設、附置義務駐車場等の仕様を教えてください。

3 年間を通じたイベント

コンサート、スポーツのパブリックビューイングなど1年間を通じてイベント広場としての機能を十分果たせるとされていますが、具体的な内容を教えてください。

4 他の球技の使用

サッカー以外の球技が使用可能とあります。観客席からピッチまで5mということですが、ラグビーやアメフトは困難ではないかと思われます。こういった球技をお考えでしょうか。

5 概算事業費

作業部会では、各工事種別ごとに予備設計額を算出しております。

（別紙の通り）

整備費 140 億円はどのように積算された額かその内訳を教えてください。

借入金 45 億円については、サンフレッチェ広島で資金調達される計画でしょうか。

上下水道、電気などの地下埋設物の移設費用は含まれているでしょうか。

6 収支計画

旧広島市民球場跡地及び広島みなと公園の収支計画の積算根拠を教えてください。

7 事業主体、建設後の管理形態

ガンバ方式と同じように、サンフレッチェ広島で建設後、公共に寄付し、その後指定管理で維持管理されるという前提でしょうか。

事業主体、建設後の管理形態について教えてください。

8 観客動線や滞留空間等について

県警と協議した際、歩行者の通行に支障がないようになどの指摘があります。スタジアム周辺の観客動線、滞留空間はどのようなになっているのでしょうか。また、避難経路はどのようなになっているのでしょうか。

9 資料の提供

平面図、断面図など詳細図面などの資料提供をお願いします。

別紙

概算事業費の内訳

単位:千円

工事内容		旧市民球場跡地	広島みなと公園
本体工事	下部構造整備費(構造)	7,504,947	8,547,272
	観客席整備費(3万席)	1,161,632	1,161,632
	屋根整備費	3,145,822	3,059,897
	電気設備整備費	2,675,580	2,661,444
	機械設備整備費	1,571,076	1,598,026
	スタジアム周囲P Cデッキ・階段整備費	—	880,365
	公園施設撤去費	(ライトスタンド) 34,200	102,154
	小計	16,093,258	18,010,790
付帯工事 (旧市民球場跡地)	掘り込み関連費	9,938,634	—
	掘削費(掘削深さ7.3m)	360,839	—
	山留・切梁・構台等工事費	5,742,625	—
	残土処分費	347,130	—
	湧水処理費	91,200	—
	埋設物移設費(上下水道、電気)	904,305	—
	ピッチ下部躯体工事費	949,166	—
	スタジアム浮力対策費	1,106,383	—
	駐車場消火設備費	265,848	—
	芝の養生対策設備費	160,968	—
	埋蔵文化財試掘調査費	10,170	—
	小計	9,938,634	—
合計		26,031,892	18,010,790

道路関連整備費 (広島みなと公園)	歩道橋整備費(4橋)	—	1,165,650
----------------------	------------	---	-----------

小谷野委員が入られたサッカースタジアム検討協議会は、下記の通り提言を取りまとめておられますが、下記 1、2、3 について現在、どのようにお考えでしょうか。

1 規模について

国内他地域のスタジアムよりも国際大会誘致の面で優位性を有するには、3 万人規模を超える専用スタジアムが国内に 4 か所と少ないこと、西日本において 3 万人規模を超えるスタジアムは、30,132 人収容のノエビアスタジアム神戸（御崎公園球技場）だけであること、さらに 2015 年秋に完成予定であるガンバ大阪の新スタジアム（吹田市）は 40,000 人収容であることを踏まえて、3 万人規模が適正と判断する。

各候補地において約 3 万人であること、現エディオンスタジアム（広島広域公園陸上競技場）においても観客数が 3 万人を超える場合もあること、そして今後サッカー観戦に適した魅力あるスタジアムの整備とこれを核としたまちづくりが進むことによりマツダスタジアム（広島市民球場）のように新たなサポーター層の拡大（需要喚起）が大いに期待できることも、その適正規模は 3 万人規模とすることが妥当であることを裏付けている。

2 周辺の施設について

サッカースタジアムの整備をするエリアについて、旧広島市民球場跡地においては周辺の武道場等の既存施設は現状のままとすることが図示されている。

3 サンフレッチェの負担について

初期整備費、大規模修繕費において不足額が発生することが予想されることから、地元球団、行政、経済界、県民・市民が一体となって整備に取り組んだマツダスタジアム（広島市民球場）整備の際の資金調達事例について研究を行い、不足額を解消する視点から地元プロサッカークラブに自己調達額や資金調達に対する見解を協議会に示すことを依頼し、回答を得て、提言に負担額を示した。

・旧広島市民球場跡地 1. 8 億円(現行使用料 0. 8 億円 + 1 億円負担)

・広島みなと公園 1. 4 億円(現行使用料 0. 8 億円 + 0. 6 億円負担)

＜小谷野委員発言＞

現在使用料として支払っている 8 千万円から、大体 1 億円は上乗せできる。年間 1 億 8 千万から 2 億円くらいは負担できるとみている。

（さらに旧広島市民球場跡地については、国有地の使用料 0. 8 億を支払える。）